

院外心停止患者の来院時ウツタイン情報及び血液ガスデータと予後に関する研究

■ 研究の対象となる方

2012年1月～2021年12月に当院で心肺停止に対して治療された方

■ 目的・方法

心肺停止は、死亡率の非常に高い疾患です。救命のために心臓マッサージ、人工呼吸器、体外式人工心肺装置等による治療を行うことが重要と考えられています。当院では、これまで三次救急医療機関として熊本県の集中治療を要する患者様の治療を担ってきました。心肺停止は、死亡率の高い疾患であり、救命可能であっても神経学的予後が不良であることも多く認められます。しかしながら、早期に体外式人工心肺装置を使用しなければ、救命できず、治療可能かどうかの判断は一刻の猶予を争います。

この研究では、入院時の搬送までの経過、心電図、採血データを元に患者様の診療記録を調査し、生命・神経学的予後を比較することで、予後規定因子を探索することを目的としています。診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。収集した情報は個人情報削除し、解析・検証を行います。

■ 実施期間

2022年3月14日～2023年3月31日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、搬送時の経過、心電図、採血検査、CT検査、人工心肺の使用の有無、入院期間など

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。また、本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個別にご説明することも可能です。いずれも下記へお申し出下さい。

試料や情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 集中治療室 主任 松浦純也（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
------------	---

以上